



## 大畑部長ら本部役員4名が再任 JAさっぽろ青年部第22回通常総会

JAさっぽろ青年部(大畑一郎部長)は、4月21日(水)、代議員36名の書面議決により第22回通常総会を開催しました。本部三役と参与、事務局により議決権行使書面の集計を行なった結果、令和2年度事業報告と収支決算など上程された4件の議案が全員の賛成をもって可決されました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、伝統行事である「支部対抗親睦ボウリング大会」の中止やサッポロ

さとらんど「たまねぎフェスタ」への不参加など活動制限を余儀なくされた一方で、新たな取り組みを開始した一年でもありました。青年部員が生産した農産物を伝える場所として、食べるスープの専門店「Soup Stock Tokyo(スープストック トーキョー)」との連携が実現。Soup Stock Tokyo 円山店で青年部員が生産した小松菜やタマネギなどをふんだんに使用した「季節のボルシチ」を期間限定で販売し、34日間で1,500杯以上を売り上げました。

令和3年度の事業計画には、コロナ禍においても組織の進展と活性化を図るため、交流活動事業・研修活動事業・農業PR活動事業に取り組むことが盛り込まれました。

また、任期満了に伴う役員改選についても、コロナ禍のリスクを鑑み、本部三役・支部長を対象とした書面議決で決議。本部三役については、本部部長に大畑一郎さん、副部長に厚母敏克さん、氏家雄太さん、秋山祐亮さんの4名が再任し、参与についても引き続き、平賀農<sup>ツトム</sup>さんに務めていただくこととなりました。



△(左から)平賀参与、大畑部長、秋山副部長、氏家副部長、厚母副部長。

